

No.	地域力創造アドバイザー			所在地	主な取組と実績
1		齊藤 俊幸 (イング総合計画(株) 代表取締役)	民間 専門家	東京都 杉並区	食づくり、酒づくりの雇用創出、地域再生 荒尾市地域再生マネージャーとして農林水産課地域再生係に赴任。商店街に住み、約2年半地域再生事業に取り組む。高齢者が孤立している地域に「徒歩圏内マーケット」を設立し、市内各地に多店舗展開(3店舗)を図った。地域にお金が落ちる仕組みを構築し、連携組織を活用したやる気のある担い手育成を図ったことで、年間売り上げは1億円近くにまでなっている。また、熊本県宇城市の地域再生マネージャーとして活動したほか、平成21年度は地域力創造アドバイザーとして高知県土佐市で『土佐市いいものブランド化支援』に取組んだ。
2		清水 慎一 (株)ジェイティービー 常務取締役)	民間 専門家	東京都 品川区	観光による交流を活かした元気なまちづくり これからの観光は地域固有の資源を活かした「まちじゅう観光」であり、その振興のためには「行政主導」・「外部マネージメント主導」からの脱却が必要であるとの認識のもと、地域住民の立場を踏まえながら、観光客のニーズに即したメニューづくり、旅行会社との役割分担、行政が果たすべき役割など手順を追ってアドバイスし、「観光によるまちづくり」を地域と一体となって進めている。具体的な事例としては福島県「奥会津」「喜多方」「会津米沢観光圏」「福島観光圏」、宮城県「大崎市」、山形県「小野川温泉」「きらきら観光圏」、青森県「十和田観光圏」「下北」「弘前」などがある。
3		藤崎 慎一 (株)地域活性プランニング 代表取締役)	民間 専門家	東京都 港区	ビジネス視点でのコーチングにより、住民を自立させての地域活性で成果を上げる 「宮崎青島再生会議」(宮崎県)では、宮崎青島地域を再生させるために、地域住民が主体となったまちづくりワーキングを実施し地産地消を目指す新名物「あしたばうどん」の開発や様々な案の検討。また、「伊勢志摩再生プロジェクト」(三重県)では、どん底に落ち込んだ伊勢鳥羽志摩地域を再生させるために、地域の「ばか者」9人と「よそ者」である藤崎氏の計10名が指名を受け、月1～2回徹底した議論を展開、同時に行動し、地域課題を解決、そして成果を上げた。また、平成21年度は地域力創造アドバイザーとして新潟県十日町市で『十日町地域のブランドの確立』に取組んだ。
4		木村 修 (農事組合法人伊賀の里 モクモク手づくりファーム 社長理事)	民間 専門家	三重県 伊賀市	農業公園「伊賀の里モクモク手づくりファーム」による地域の活性化 三重県伊賀市山麓に自然・農業・食農学習をテーマにした農業公園「伊賀の里モクモク手づくりファーム」を作り上げる。1987年、たった一人の船出だった。専務理事、吉田修と共に、「脱・既成農業」の名の元、ユニークな手法と情熱で、20年間で従業員300名、年間38億円に達する規模まで育てた。人口8,700人の旧阿山町(現・伊賀市)に、年間50万人の観光客が訪れる。平成21年度は地域力創造アドバイザーとして和歌山県すさみ町で『イノブタによるわがまち元気プロジェクト』に取組んだ。
5		屋代 雅充 (東海大学観光学部 観光学科 教授)	民間 専門家	神奈川県 平塚市	地域固有の景観的・観光的な魅力をフットパス事業を通じてあぶり出し市民主導のまちづくりへ展開 2004年3月に山梨県勝沼町(現、甲州市勝沼町地域)の都市計画マスタープランの策定に関わった。固有の景観を大切にしながらまちづくりを進めることを基本理念として掲げ、景観に配慮した土地利用ゾーニングを定めるとともに、勝沼地域景観形成ガイドライン(2006年3月、甲州市)を策定した。フットパス事業をまちづくりの重要な手法として位置づけ、魅力ある景観の形成とそれを支える農業の持続発展、さらには観光振興も含め、住み心地の良い魅力ある地域づくりを推進している。
6		金丸 弘美 (食環境ジャーナリスト・ 食総合プロデューサー)	民間 専門家	東京都 調布市	味覚ワークショップを取り入れた食育と食をテーマにした観光振興事業 地域の食材のテキストを作成し、その歴史から栽培法、料理までを知る食育ワークショップを、学校から一般向けまで広く開催。行政、学校、生産者、商店街、料理家等の幅広い参加を促し、食育が地域のブランド作りから観光、商品開発まで結びつくよう、マーケティングの要素を入れ、年間計画を立てて実施している。これまで大分県竹田市、佐伯市、豊後大野市、玖珠町、佐賀県唐津市、長崎県平戸市、茨城県常陸太田市、岐阜県高山市、秋田県横手市(地域力創造アドバイザー)などの食のアドバイザーを手がけた。

No.	地域力創造アドバイザー			所在地	主な取組と実績
7		井手 修身 (イデアパートナーズ(株) 代表取締役社長)	民間 専門家	福岡県 福岡市	地域再生における現場力のある人財と組織の向上術 ～波佐見グリーンクラフトツーリズムに見る人財と組織～ 組織づくりとマーケティングのプロとして、直接現場に入って実績を生み出している。具体的には、陶磁器産業の町である長崎県波佐見町の窯業生産高が激減していた状況にあったのを、窯業に地域資源を組み合わせ、ツーリズムの観点からサービス産業へ転換するきっかけを作った。地域住民の自立型、内発型な活動を仕掛けることにより、行政とのWin-Winの関係の仕組づくりを応援している。また、平成21年度は地域力創造アドバイザーとして熊本県荒尾市で『荒尾市の里山・干潟ヒューマンツーリズムの推進』に取組んだ。
8		佐藤 喜子光 (財)学びやの里 九州 ツーリズム大学附属地域 力創造研究所 所長)	民間 専門家	熊本県 阿蘇郡 小国町	ファンづくりツーリズムを根子とした地域力の創造 「その地域らしさ」が最も持続発展可能な観光資源で、お客様の資質やTPOに合わせた「地域商品」が効果的であること、目標市場の峻別と、身の丈にあった「おもてなし」が大切であること、そこで共感を覚えたお客様は必ずその地域のファンになってくれること、またファンはその地域の地場産品を反復購入してくれること。この「ファンづくりツーリズムのマーケティング」の普及に努めている。主な取組として、福井市観光ビジョン策定(委員長)、天草宝島観光協会設立(指導)、やまぐちのらしさわかたつ旅づくりネットワーク設立(指導)、雲仙天草観光圏協議会設立(指導)などがある。
9		砂田光紀 (有)オフィスフィールド ノート 取締役)	民間 専門家	福岡県 福岡市	地域の素材や技術、遺産を活かし、デザインで味付けするプロジェクト群 まち、むらの表情に個性を取り戻し、世代間の心の交流や本当の豊かさを取り戻すために社会性のある活動を目指している。その手法として、地元の素材や技術を現代に活かすアイデアと運営手法の提案や実践、地域で課題となる「古い公共施設、廃校」などを継続的に運営できる施設へ変身させること、地元の素材や技術を直接社会に活かすことで経済性を追求し費用対効果を向上させることなどを行っている。主な取組事例として、東京おもちゃ美術館(新宿区四谷NPO法人日本グッド・トイ委員会運営)、百年レイル肥薩線活用プロジェクトなどがある。
10		中島 淳 (株)カルチャーアットフォー シーズンズ 代表取締役)	民間 専門家	東京都 港区	思いや考えをカタチに 全国各地で特産品開発や観光交流の推進に従事し、地域の取組をビジネスモデルとして確立するプロジェクトをプロデュースしている。具体的には、会津方面でのプロジェクトで各鉄道及びバスの2日間乗り放題切符の企画・商品化(2002年)、遠野市にて人材育成を目的に「東北ツーリズム大学」の開設(2003年)、都内空き店舗を利用した山形県遊佐町の東京アンテナショップ開設(2007年)、和歌山県紀の川市の地域力創造アドバイザー(平成20年度)等、様々な取組を実施している。
11		吉本 哲郎 (地元学ネットワーク 主 宰)	民間 専門家	熊本県 水俣市	足元にあるものを新しく組み合わせ町や村を元気にしていく 1991年より水俣を水とごみと食べ物にどこよりも気をつける環境都市にしていく取り組みを住民協働で展開した。その中で住民自らが調べ考え、水俣をつくっていくことを提唱し、全国環境首都コンテストでトップの評価をうけるまでになった。また、2002年から頭石地区の地域資源を発掘することで「村丸ごと生活博物館」とし、人を招き入れることで集落の元気をつくっていった。このほか、これらの取り組みが三重県の「三重ふるさと学」や岩手県の「いわて地元学」になって広がった。